

旅先で会った人々のはなし



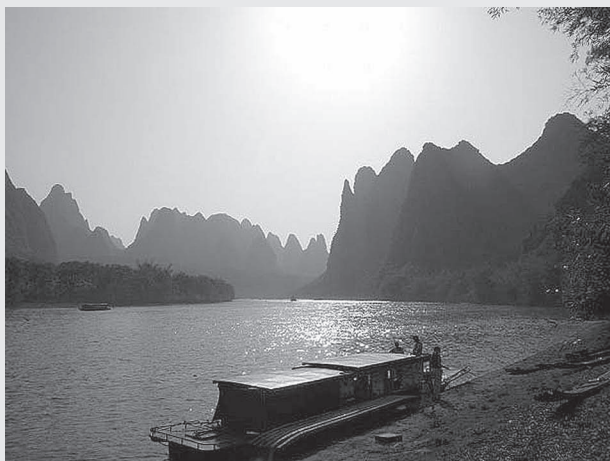
園 雅伊

SONO Masayoshi

日本ゼニスパイプ(株)
防災技術営業課

私はときどき海外旅行に出かけるのですが、景色・建物・雰囲気・食べ物などを楽しむのはもちろん、旅先でその土地や旅行中の人に接するのが好きです。といってもそれはここ数年で自覚したことで、実は一緒に旅行した人などから「知らない人によくそんなに普通にしゃべれるね」と言われてから気づいたのです。あまり意識はしていなかったのですが、そういわれれば確かにいろんな人に接した記憶やそういう写真は多くなっていますし、自分でもいつのまにか平気でそうしている気がします。でもその一方で、特に海外では、調子に乗って他人を信じすぎるとだまされたり盗まれたり怪我させられたりすることもあるので、慎重にやっているつもりではあります。最後はカンに頼るのみですが、幸いなことに今のところひどい目に遭っていません（人を見分けるのは難しい）。というわけで、今回は私が今まで旅先で出会った印象深い人々と、旅行しながら思ったことを書いてみようと思います。

4年前に中国の広東・広西へ旅行した時、アンドリューというアメリカ人のおじさんと知り合いにな



漓江とツアー船

り、安宿を2泊し一緒に街をまわったことがあります。彼と知り合いになったきっかけは、ともに漓江川下り（風光明媚な桂林・陽朔のあの山々です）の外国人向けツアーに参加しており、それがあまりにもハプニングだらけだったために参加者同士で意気投合してしまったこと、数時間おくれで解散したツアーのあとバックパッカーたちと安宿の値段交渉をして部屋に一緒に泊まったこと、そのバックパッカーたちの中で漢字を理解するのが自分ひとりで重宝がられたことです。そのツアーのハプニングというのが、ツアーバスがパンクしてタイヤ交換に1時間以上待たされたり、川下り船のボロさや段取りの悪さでツアー客とトラブルになったガイドさんが川に落とされたり、移動バスが不在で三輪タクシーにすし詰め状態で移動させられたりと、とにかくめちゃくちゃだったのですが、その中であってアンドリューはうんざりしながらも「ハプニングやどさくさに紛れて、荷物がなくなったりするから気を付けたほうがいい」的なことを英語で教えてくれました（私の英語力はあやしいですが、そういう趣旨に聞こえました）。たしかに十分ありえます。幸いにもそのツアーのハプニングは悪意や故意でもなく単にハチャメチャなだけだったのですが、そんなわけで知り合ったアンドリューおじさんと、陽朔の街で2泊しながら一緒に観光することになりました。

ところがしばらく一緒に遊ぶうち、彼が「旅慣れた賢いおじさん」というよりは「わがままなベジタリアン」であることが分かってきました。しかもなんとなく中国人を見下したような態度をとりながら英語であれこれまくしたてるのです。とくにひどかったのが、バイクタクシーを2台雇って郊外の観光地を往復したときで、目的地を固定して安く契約したのに、運転中に「あっちもまわれ」「あのさき



バイクの後ろでご満悦のアンドリューおじさん

にも連れていけ」というので、アンドリューを乗せた運転手がキレて幹線道路のトンネルの入り口で下車して口げんかをはじめたのです。ダンプやバスがびゅんびゅん飛ばす脇で、アンドリューには（私のへんな英語で）おまえが悪いと言い、中国人には（私のへんな中国語で）すまなかったからまっすぐ帰ろうと言い、その場をなんとか収拾させて(?) 帰り着くことができました。心の中では半分笑っていたのですが、なかなかスリリングな体験でした。ほかにもベジタリアンである彼に肉類が入っていないメニューがどれか延々と説明させられたり（めんどくさいので豆腐料理ばかり勝手に注文しました）、服を値切りすぎて店から追い出されたりと色々ありましたが、さすがに彼の性格がわかってきたので途中からは笑ってばかりいました。

そんな彼にもかわいい娘がいるそうですが、離婚しているのでたまにしか会えないということです。離婚の原因が彼の性格によるものなのかは定かではありませんが、なきにしもあらず、です。。。それでも微妙に憎めないアンドリューおじさんのおかげであちこちまわられたのも事実で、これはもう一生忘れられない思い出になりました。また会おうアンドリューおじさん！

海外に行って誰かと話しをして「私は日本人です」となったとき、その相手が若い人である場合は、アニメやマンガの話になるケースがあります。2年前に北アフリカのモロッコを訪れたとき、マラケシュからタクシーに乗って「アイトベン・ハドゥ」という世界遺産の砂漠の集落に行ったのですが、そ

こで出会った中東の学生たちに自分が日本人であることを言うと、急に3人とも目が輝いてアニメのタイトルが5～6個飛び出してきました。私はマンガは殆ど読まないのですが、それでも「ドラゴンボール」「ワンピース」「ナルト」だけは分かりました。私はフェイスブックに外国人の友達を登録しているのですが、その人たちもアルバムのような形でアニメ・マンガ・ゲームのキャラクターや日本的なデザイン画像を載せている人がけっこういます。みなさん口をそろえて言うには、「ストーリーや背景がいい」「絵がきれい」「動きがいい」など。確かに私もそう思います。自分の趣味に合うかどうかは別にしてもものすごくキレイだと思います。

外国へ行くたびに、日本の良さと悪さを認識したり、「同じ人間なのにこうも違うのか」と思う一方「やっぱりどこに行っても基本的に同じだ」と思ったり、いろいろです。そしていよいよ帰国が近づくと「ちかくの火山が噴火でもしてフライトが止まればいいのに」と思いながら、いつも仕方なく搭乗ゲートをくぐるのでありました。



中東（のほう）から来た学生さん